

a piece for your business.



流通BMSの導入作業と事例

・流通BMS導入のために必要な
申請・手続きと期間

2009年10月23日

営業本部BPコンサルティングチーム

シニアコンサルタント
新 勝己



DAL
株式会社データ・アプリケーション



≡≡≡ 目次

I. DALのご紹介	2
II. 流通BMS導入のために必要な申請・手続きと期間	4
III. 証明書導入において発生した問題の実例	8
IV. ご導入事例 卸「Paltac」様	12
V. 最も導入実績の多いACMSで流通BMS環境を構築	22





I . DALのご紹介



≡≡≡ 会社概要

社名	株式会社データ・アプリケーション(DAL) JASDAQ 3848
代表者	代表取締役社長執行役員 橋本 慶太
設立	1982年9月27日
資本金	386,435千円
従業員数	92名(連結 2009年3月現在)
売上	1,459,289千円(連結 2009年3月期)
事業内容	企業間データ交換用ミドルウェア(B2B)、企業内アプリケーション連携用ミドルウェア(EAI)の商品開発と販売及びコンサルティング
パートナー	ビジネス・パートナー:71社

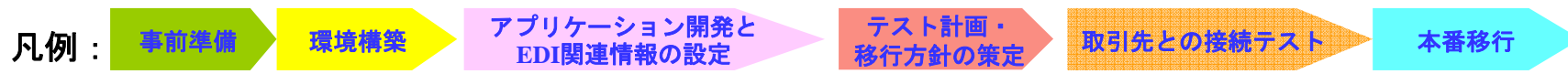
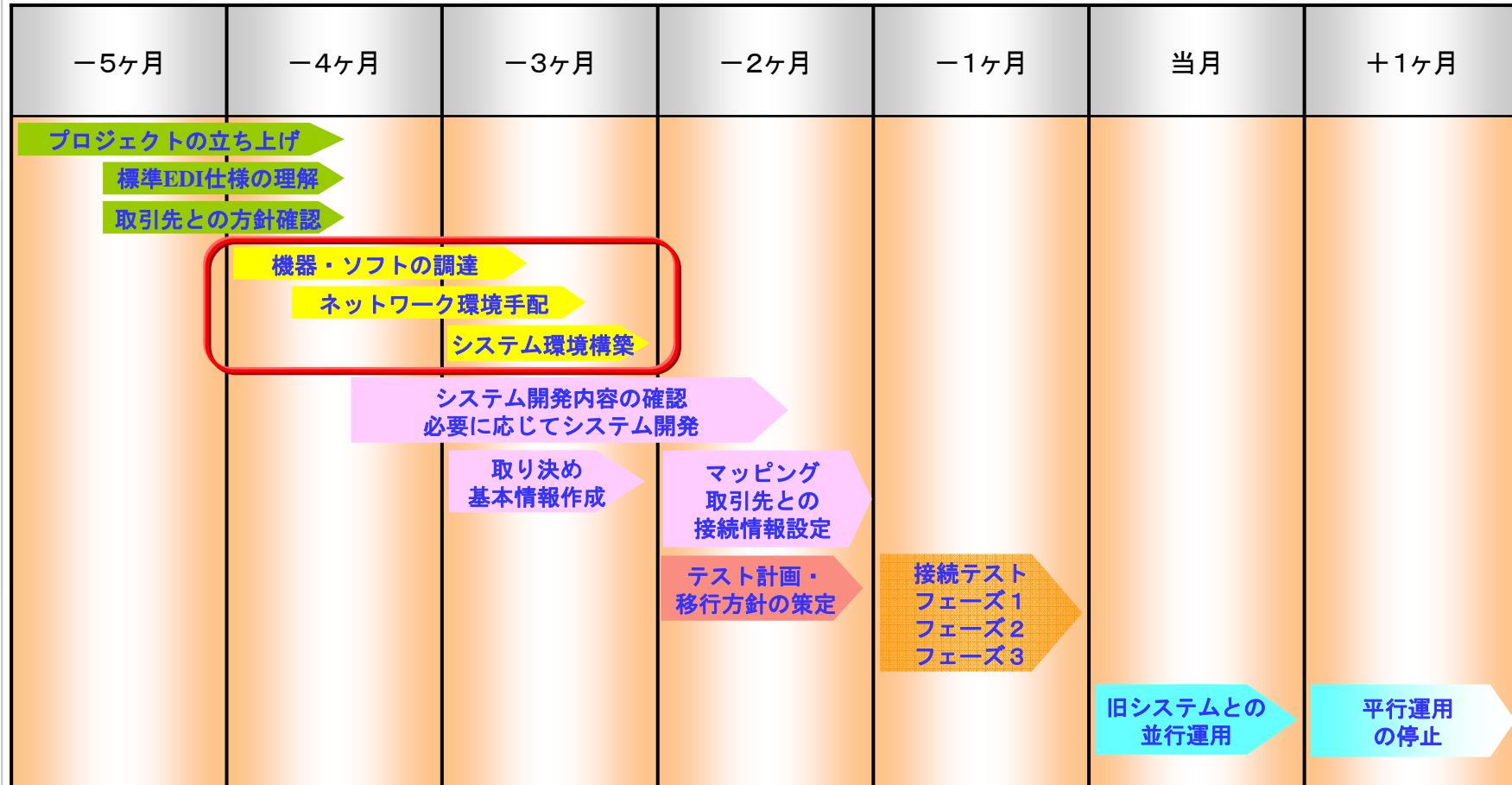


Ⅱ. 流通BMS導入のために 必要な申請・手続きと期間



1. 必要な申請・手続きと期間

図：導入にかかわる全体の流れ



≡≡≡ 1. 必要な申請・手続きと期間

(1) 回線・プロバイダ・グローバルIP

- **インターネットプロバイダ選定および回線申請(申し込み～開通まで約2週間)**
 - サーバの場合には、固定IPアドレス(グローバルIP)を使用できるプロバイダを選定。
 - プロバイダのサービス品目にあるインターネット回線(光、ADSLなど)を申請。

注:サーバの場合さらにバックアップ用途のため、2つの異なるプロバイダと契約される事をお勧め。

(2) ドメイン名

- **ドメイン名決定および登録申請(約7営業日)**
 - 取得したい属性型・地域型JPドメイン名(XXX.co.jp)を日本レジストリサービスのドメイン名の検索サービスで検索し、使用されていない事を確認した上で、ドメイン名登録サービス提供指定事業者へ申し込む。

(3) 証明書

- **流通BMS対応電子証明書(サーバorクライアント)の取得(約10営業日)**
 - 「流通BMS対応電子証明書」を発行している流通業界共通認証局(証明書発行局(CA))へ申し込み、証明書を取得する。

注:一般の認証局が発行したパブリック証明書や自身で発行したプライベート証明書は使用不可。

≡≡≡ 1. 必要な申請・手続きと期間

(4) GLN

- **企業コード(GLN)の取得(約1週間)**
 - 流通システム開発センターより『GLN専用企業コード登録申請書』を取得し申し込む。
 - なお、自社の商品にJANコードを表示する必要がある場合には、GLN企業コードと併用できるJAN企業コード(JANメーカーコード)の申請が必要。
JAN企業コードの場合もGLNと同じく流通システム開発センターへ申し込む。

※詳細な資料は、下記URLより「流通BMS導入ガイド」がダウンロード可能

<https://www.dal.co.jp/form/datadl.php>



Ⅲ. 証明書導入において 発生した問題の実例



2-1. CSR方式での証明書取得

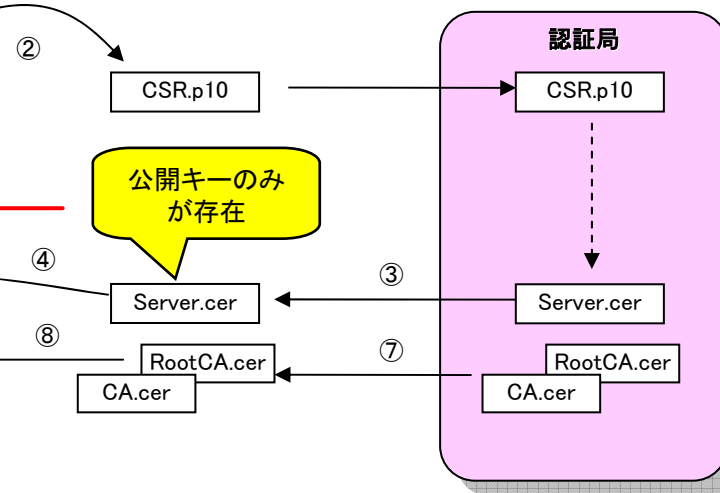
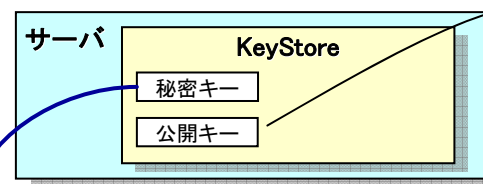
CSR方式

① 秘密鍵／公開鍵ペアの作成



② サーバ証明書署名要求(CSR)作成

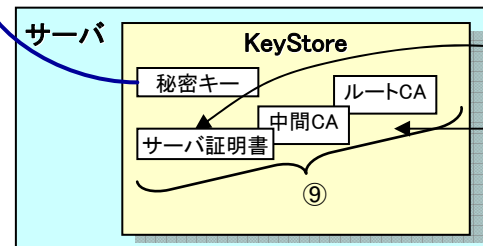
うっかり別マシンで作業してしまうと、秘密キーが存在しない！



公開キーのみが存在

③ 証明書応答の取得

④ PKCS#7形式サーバ証明書のインポート



⑦ CA証明書の取得

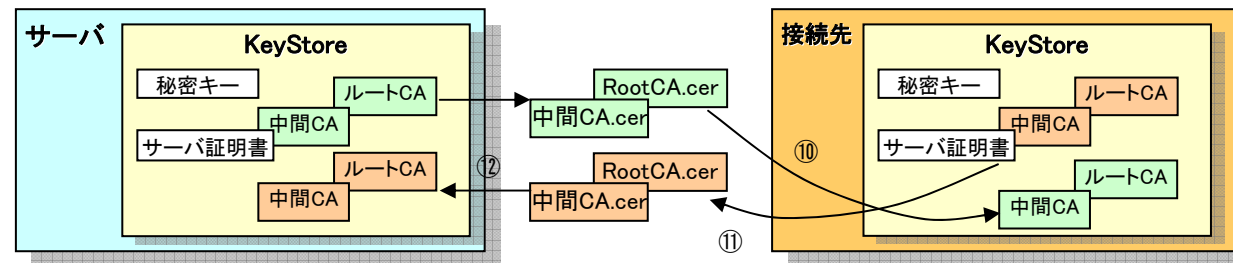
⑧ ルートCA証明書と
中間CA証明書のインポート

⑨ 証明連鎖の確認

⑩ 接続相手へCA証明書の配布

⑪ 接続相手のCA証明書の取得

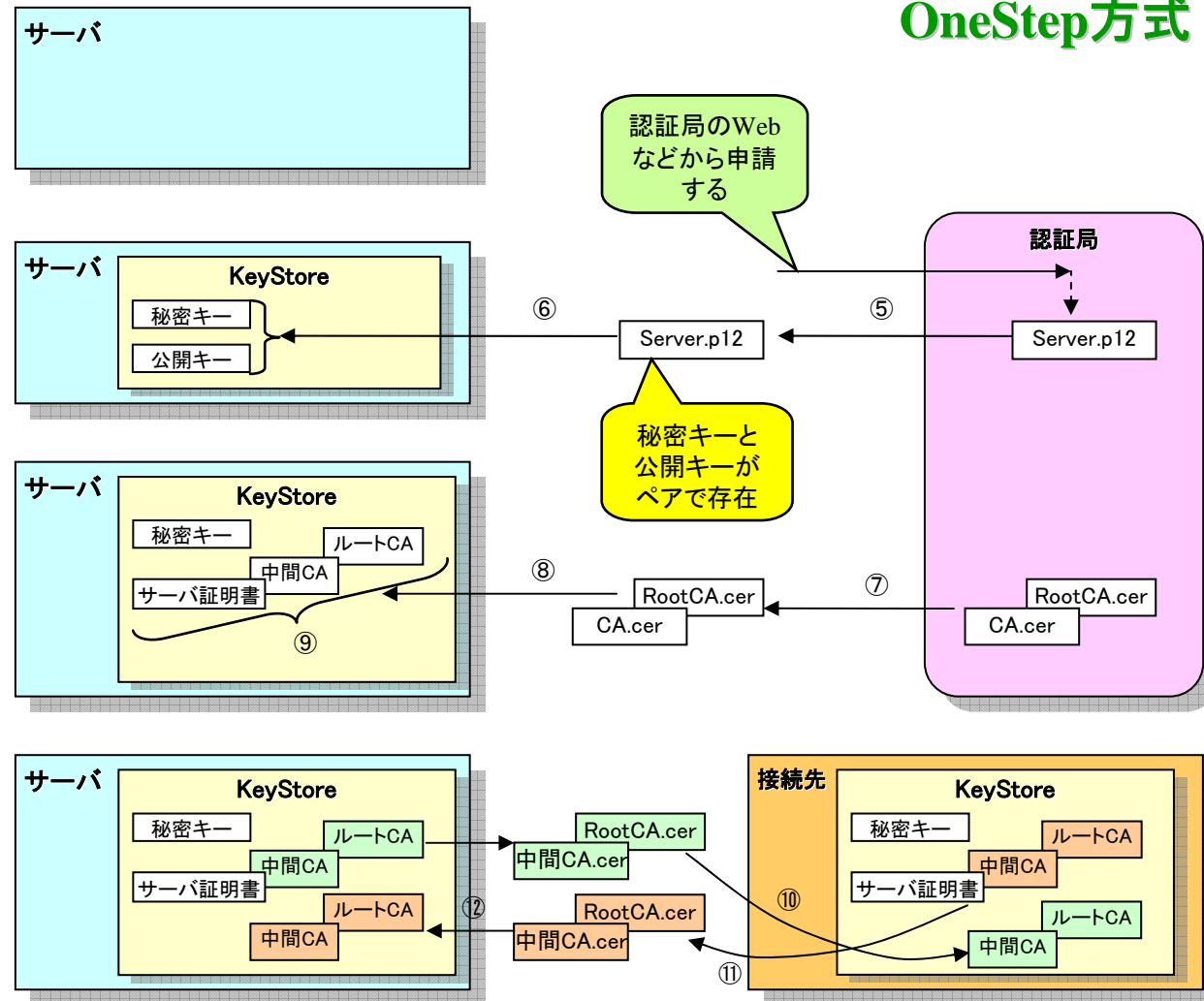
⑫ 接続相手のルートCA証明書と
中間CA証明書のインポート



2-2. OneStep方式での証明書取得

OneStep方式

- ⑤ PKCS#12形式サーバ証明書の取得
- ⑥ PKCS#12形式サーバ証明書のインポート
- ⑦ CA証明書の取得
- ⑧ ルートCA証明書と
中間CA証明書のインポート
- ⑨ 証明連鎖の確認
- ⑩ 接続相手へCA証明書の配布
- ⑪ 接続相手のCA証明書の取得
- ⑫ 接続相手のルートCA証明書と
中間CA証明書のインポート



≡≡≡ 2-3. 流通BMS専用の証明書

(1) 流通BMS専用証明書の意義について

- 流通事業関係各社が流通BMS専用の証明書を使用することにより、中間CA及びルートCAが一本化されるため、証明書事前交換の手間が最低限で済むことになり、次世代EDI導入の容易な拡大が可能となる。
 - 2009年10月時点では、インテック社、グローバルサイン社及びベリサイン社の3社が「流通BMS対応電子証明書発行サービス」を提供。
 - 流通BMS専用証明書の入手方法については、各社のホームページを参照。



IV. ご導入事例 卸「Paltac」様



会社概要

- 商号 株式会社Paltac(Paltac Corporation)
- 事業内容 化粧品・日用品、一般用医薬品卸売業
- 所在地 本社/大阪市中央区南久宝寺町一丁目5番9号
支社/北海道・東北・関東・東京・横浜
中部・近畿・中国・四国・九州
- 創業 1898(明治31)年12月 1日
- 設立 1928(昭和 3)年12月22日
- 資本金 5,206百万円(平成20年4月1日現在)
- 代表者 代表取締役社長 三木田國夫
- 従業員数 2,728名 <平成20年4月1日現在>
(役員・送出出向社員は除く、執行役員・受入出向社員含む)
- 取引銀行 三菱東京UFJ銀行
みずほ銀行
三井住友銀行

主な取扱い商品群

「化粧品・日用品、一般用医薬品卸売業」として、幅広い取扱い

● ヘルスケア ●

医薬品	健康食品
医薬部外品	サプリメント
衛生用品	ベビー用品
健康用品	介護用品

● ビューティケア ●

【コスメチック】	【ヘアケア】
フェイスクア	シャンプー
シーズンエチケット	ヘアメイク
メイクアップ	ヘアカラ
男性化粧品	
装粧品	

● ホームケア ●

【ホームケア】

衣料用洗剤
台所用洗剤
住居用洗剤
芳香消臭剤
防虫・除湿剤
殺虫剤

【ハウスキーピング】

キッチン用品
リビング用品
電気用品
家庭備品
アパレル・履物
文具・玩具・図書
ペット用品
ホームエンタテインメント

【ペーパープロダクト】

ティッシュペーパー
トイレトペーパー
子供用オムツ
大人用オムツ
失禁用品
生理用品

【オーラル・バスケア】

オーラルケア
石鹸
ボディシャンプー
入浴剤
カミソリ
トラベル用品

1. 流通BMS本番稼働までの道程
2. 通信コスト削減を目指す
3. 通信環境の構築
4. 通信ソフトACMS B2Bを選んだ理由
5. 発注から納品までの流れ
6. 実装時に苦労した点

1. 流通BMS本番稼働までの道程

2006年10月 経済産業省事業 次世代EDI WGに参加



12月 プロバイダ契約、DNS契約(OCN様)
固定IPアドレス 申請
Bフレッツ申請
ドメイン申請 (NTTCOM様)
通信機器の発注
ACMSのAS2とebXMLモジュール発注



2007年1月 証明書申請(インテック様)

2月 通信機器の接続・AS2 ebXMLモジュールのインストール
シュミレーション環境での疎通テスト
—ACMS販売代理店であるTIS様の支援(構築・対応)—



3月 小売店様との相対でのテスト開始

4月18日 大手小売店様との本番開始(名古屋地区)



2. 通信コスト削減を目指す

今、弊社で使われている回線種は

- ・JCA2400BPS
- ・JCA9600BPS
- ・JCA19.2K BPS
- ・全銀BSC 9600BPS
- ・全銀BSC 19.2K BPS
- ・全銀TCP/IP 64K BPS

と6種類。その回線種毎に数本～数十本の回線を用意し小売店様からの要望に応じているのが現状です。

弊社の予想では、流通BMSを多くの小売店様が導入されることにより、将来月額数十万円の通信費の削減が図れると想定しています。

- ・JCA2400BPS
- ・JCA9600BPS
- ・JCA19.2K BPS
- ・全銀BSC 9600BPS
- ・全銀BSC 19.2K BPS
- ・全銀TCP/IP 64K BPS

(接続時間にて課金)

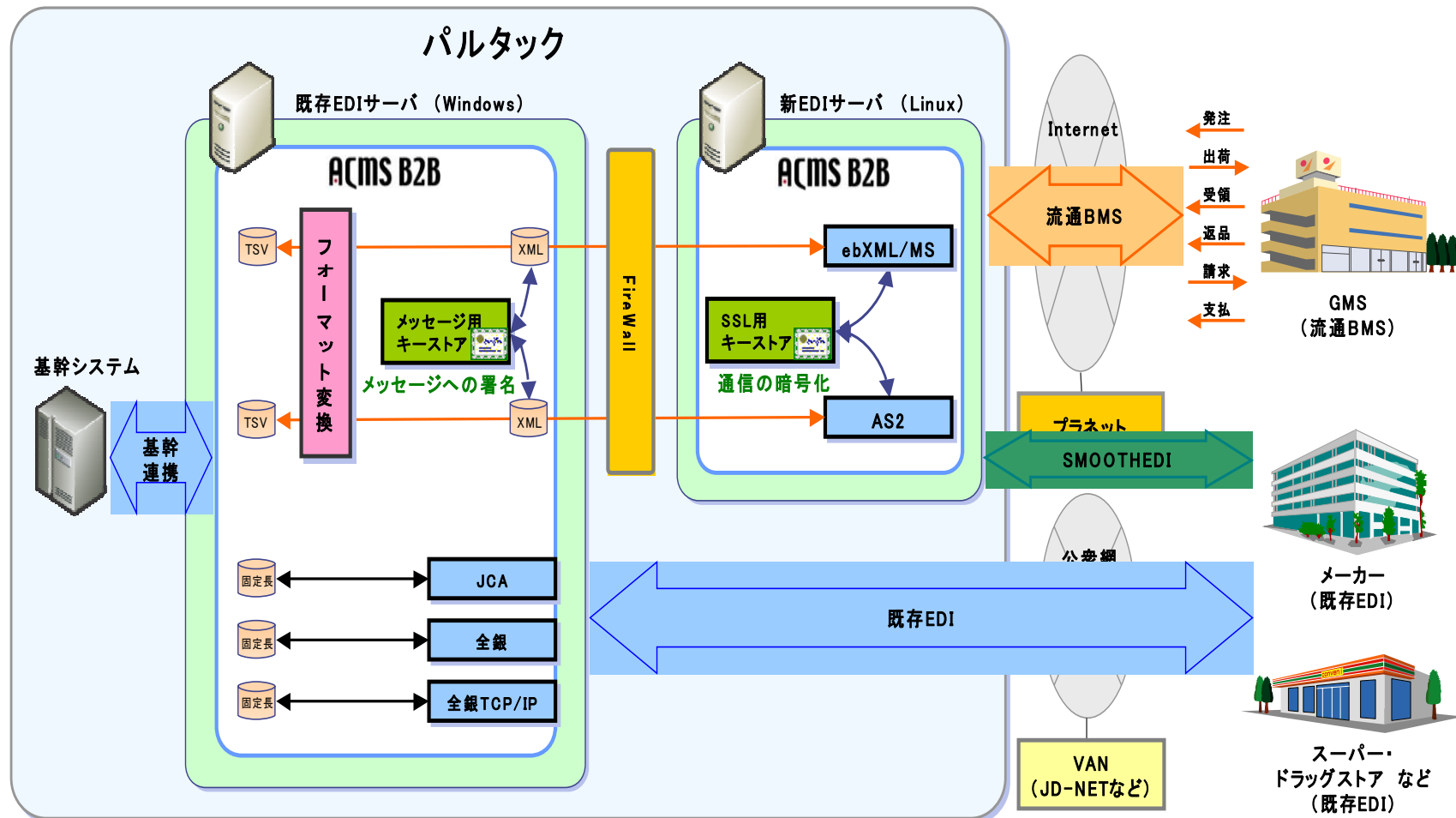


集約

インターネット回線

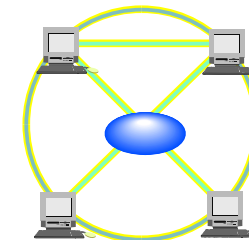
(接続時間に関係なく固定料金)

3. 通信環境の構築

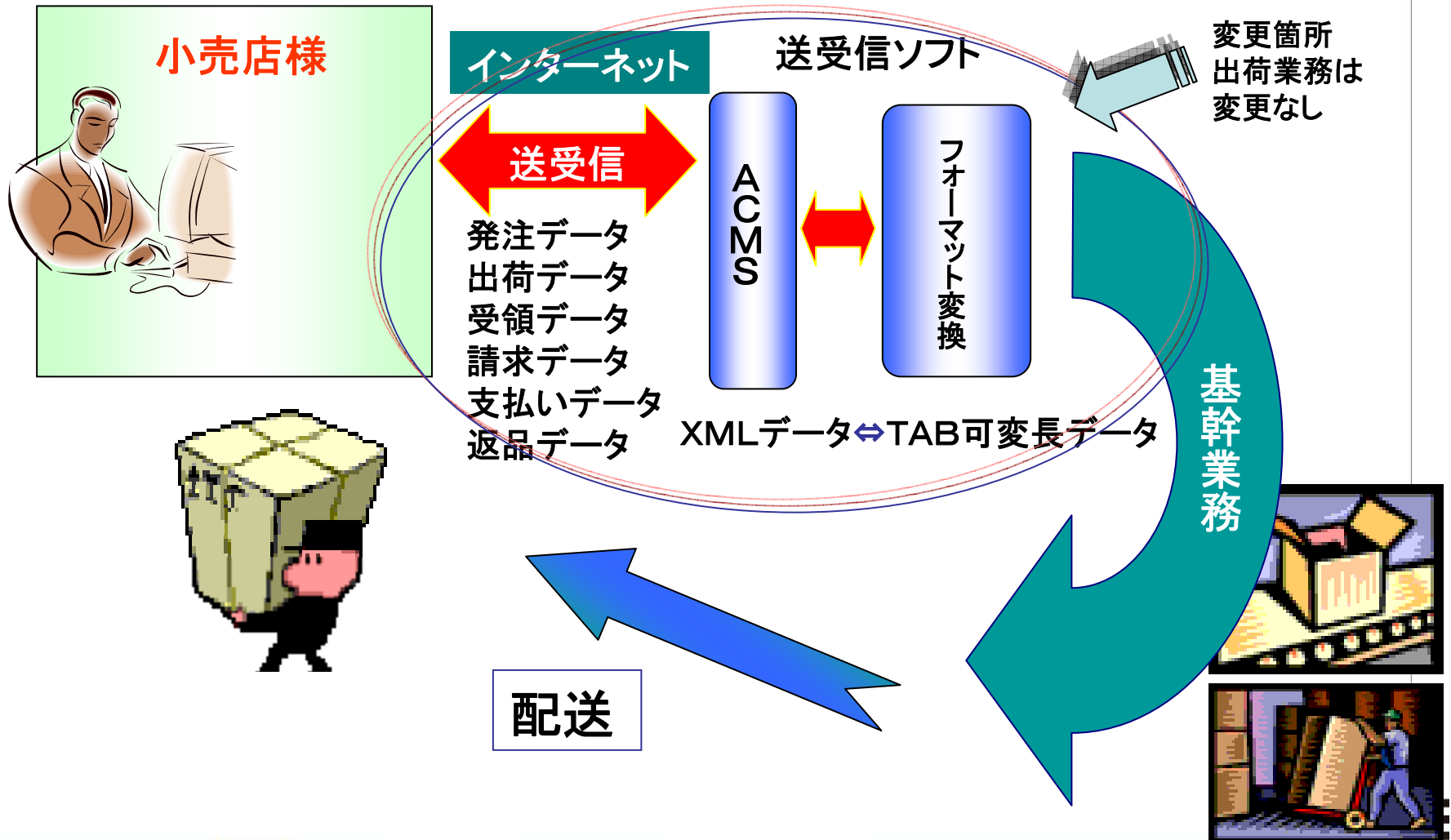


4. 通信ソフトACMS B2Bを選んだ理由

- 導入当初より、障害もなく、安定している
 - ・2000年にACMS/NT導入(一部の支社)
 - ・2005年にACMS B2B導入、全国統一ソフトとする
- 操作性がよい
 - ・WEBによる操作(各支社から操作可能)
 - ・グループ管理ができる(内部統制)
 - ・フォーマット変換が容易
- 迅速なサポート
 - ・問い合わせに対する回答が速い(DAL様・TIS様)
 - ・機能追加、修正対応が速い



5. 発注から納品までの流れ



6. 実装時に苦労した点

1. 新しい言葉を理解する
 - ・XML形式データとは
 - ・通信手順 ebXML、AS2、JXとは
 - ・スキーマの定義とは
 - ・サーバ認証・認証局とは
2. インターネット使用の為、セキュリティ確保
3. XMLとタブ区切り可変長データ間コンバージョン
パラメータ作成
4. 通信機器手配・プロバイダ・ドメイン・
証明書取得に手間取った





V. 最も導入実績の多いACMSで 流通BMS環境を構築

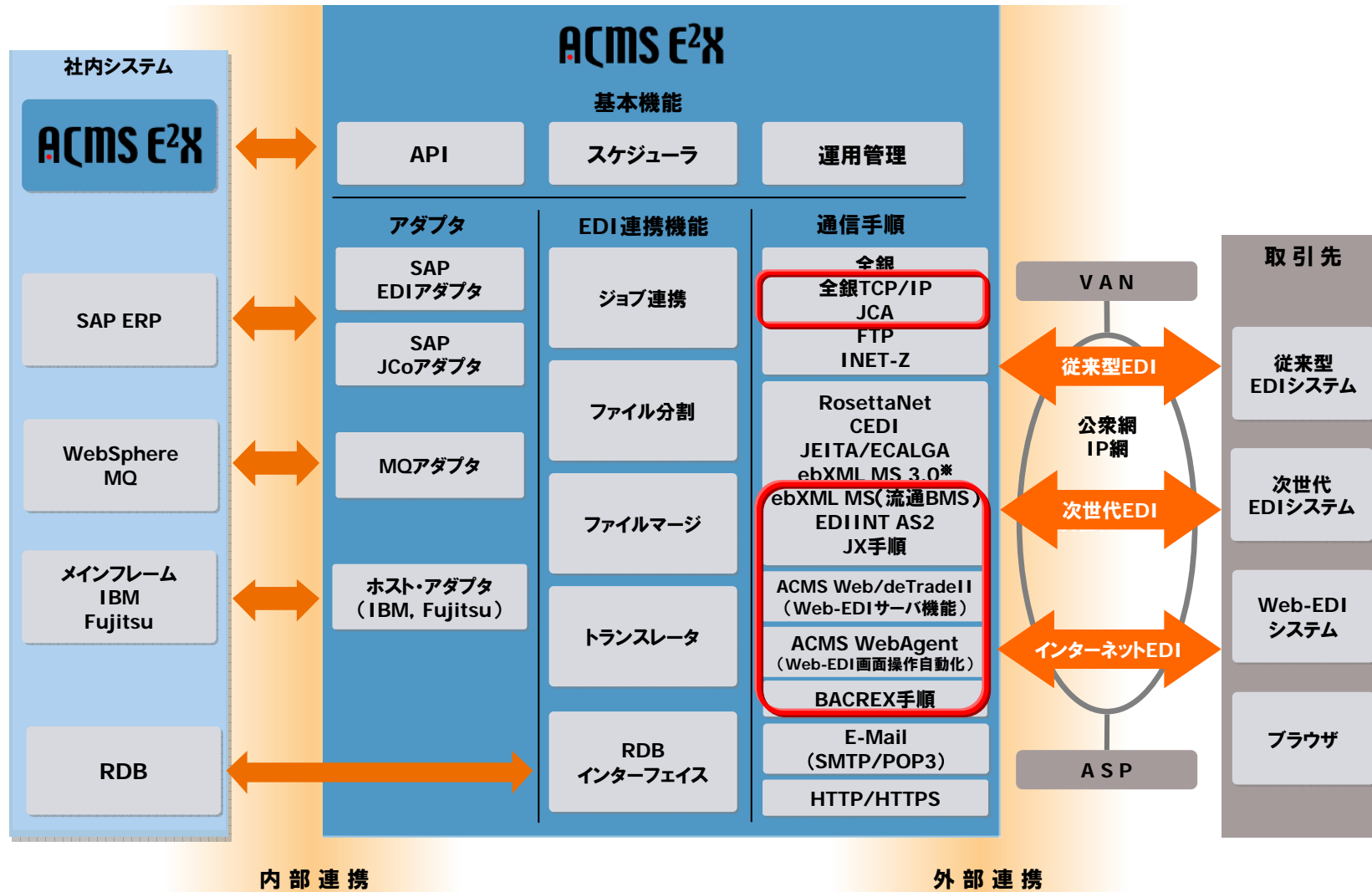


≡≡≡ 1. ACMSとは？

- 企業間取引、社内業務のデータおよびアプリケーションをシームレスに連携し、自動化するエンタープライズ・データ・エクステンジ・ソリューション
- 特徴
 - 1200社以上の導入実績が示す高い信頼性と可用性を持つB2B専用のサーバ製品とクライアント製品
 - 国内および国際標準に準拠したさまざまなプロトコルへの対応
 - 業務システムと容易に連携する豊富なアダプタ
 - 既存の従来型EDIを継続したまま、次世代EDIおよびインターネットEDIの運用を一元管理
 - 分散サーバアーキテクチャによる拡張性と負荷分散
 - マルチプラットフォームで稼動
 - 10年以上培ったEDI/EAI市場での豊富な経験とテクノロジー

注) ACMS= Advanced Communication Management Systemの略です。

4. 企業間取引/社内業務のシームレスな連携を実現



* ebXML MS 3.0では、JEITA共通クライアント対応のサーバ機能のみ提供しています。



ご清聴ありがとうございました

ご質問などがございましたら、
下記までお気軽にお問い合わせください。

DAL

株式会社 データ・アプリケーション

〒103-0013

東京都中央区日本橋人形町1-3-8

Phone 03-5640-8544

Facsimile 03-5640-8541

E-Mail sales@dal.co.jp

URL <http://www.dal.co.jp/>

<http://www.ediblog.jp/> ブログ「EDI情報館」

<http://www.AnyTran.jp/> AnyTran



- ・ECALGA及びECALGAロゴは、社団法人電子情報技術産業協会ECセンターの登録商標です。
- ・DAL, ACMS, AnyTran, E2Xは株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での登録商標です。
- ・その他記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

